

産業廃棄物処理計画書

令和7年 5月 19日

大分県知事  
殿



提出者  
住所 大分県玖珠郡九重町栗野59-1  
氏名  
玖珠NOK株式会社  
代表取締役 岩下 光博  
電話番号 0973-73-1880

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	玖珠NOK 株式会社
事業場の所在地	大分県玖珠郡九重町栗野59-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	ゴム製品製造業
②事業の規模	生産金額 2,854百万円
③従業員数	225名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>生産工程：</p> <p>廃却ゴムバリ・生地・不適合品 (収集運搬・処分・委託)</p> <p>運搬された廃棄物は主に①セメントを製造する焼成工程にてサーマルリサイクル、②破碎処分</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

・役割：1. 環境管理責任者

統括責任者：社長

環境管理責任者：業務部長

廃棄物管理主管部署：業務課

廃棄物管理者：課長級以上

○廃棄物の維持管理 ○廃棄物処理に関する各種事項の承認  
○廃棄物関連の全般業務

2. 廃棄物管理主管部署

○廃棄物管理 ○廃棄物委託業者管理 ○マニフェスト管理  
○産業廃棄物管理票交付等状況報告書等の作成

3. 廃棄物管理者

○各部署の廃棄物管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】							単位：(t)	
	産業廃棄物の種類	廃プラ	汚泥	廃油	金属	木くず	蛍光管		
	排出量	991.67	71.22	3.69	26.69	0.11	0		
② 計画	【目標】							単位：(t)	
	産業廃棄物の種類	廃プラ	汚泥	廃油	金属	木くず	蛍光管		
	排出量	922.52	71.22	3.63	17.36	0.11	0		
<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・TCD活動による省材の推進（ゴム生地使用量の削減）⇒品目を拡大し継続展開</li><li>・不適合低減による廃却生地の削減⇒不適合0活動及び各課での低減活動</li><li>・省資源委員会の開催⇒廃棄物発生要因の調査を行い改善に繋げる。</li></ul> <p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・TCD活動による省材の推進（ゴム生地使用量の削減）⇒品目を拡大し継続展開</li><li>・不適合低減による廃却生地の削減⇒不適合0活動及び各課での低減活動</li><li>・省資源委員会の開催⇒生地払い出し重量の理論値と実績のギャップを分析</li></ul>									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>① 廃プラスチック類②汚泥③廃油④廃蛍光灯⑤金属⑥木くず⑦一斗缶</p>
② 計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>※現状の取組みを継続実施する。</p>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】							単位：(t)
	産業廃棄物の種類	廃プラ	汚泥	廃油	金属	木くず	蛍光管	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-
	(これまでに実施した取組) なし							
② 計画	【目標】							単位：(t)
	産業廃棄物の種類	廃プラ	汚泥	廃油	金属	木くず	蛍光管	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-
	(今後実施する予定の取組) なし							

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】							単位：(t)
	産業廃棄物の種類	廃プラ	汚泥	廃油	金属	木くず	蛍光管	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-
(これまでに実施した取組) なし								
② 計画	【目標】							単位：(t)
	産業廃棄物の種類	廃プラ	汚泥	廃油	金属	木くず	蛍光管	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-
(今後実施する予定の取組) なし								

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】							単位：
	産業廃棄物の種類	廃プラ	汚泥	廃油	金属	木くず	蛍光管	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-
	(これまでに実施した取組) なし							
② 計画	【目標】							単位：(t)
	産業廃棄物の種類	廃プラ	汚泥	廃油	金属	木くず	蛍光管	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	-	-	-	-	-	-
	(今後実施する予定の取組) なし							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】							単位：
	産業廃棄物の種類	廃プラ	汚泥	廃油	金属	木くず	蛍光管	
	全処理委託量	991.67	71.22	3.69	26.69	0.11		
	優良認定処理業者への処理委託量	34.9	71.22	-	-	-	-	-
	再生利用業者への処理委託量	956.77		3.69	26.69	0.11		0
	認定熱回収業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	
(これまでに実施した取組) 中間処理業者の選定、管理、定期での現地確認実施。  ※現状値は第2面 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項の①と同様。								

【目標】		単位：(t)					
産業廃棄物の種類	廃プラ	汚泥	廃油	金属	木くず	蛍光管	
全処理委託量	922.52	71.22	3.63	17.36	0.11		
優良認定処理業者への 処理委託量	13.48	71.22	-	-	-	-	-
再生利用業者への 処理委託量	909.04	-	3.63	17.36	0.11		
認定熱回収業者への 処理委託量	-	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	-	-	-	-	-	-	-
② 計画	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の取組みを継続実施する。</li> <li>・省資源委員会の開催⇒生地払い出し重量の理論値と実績のギャップを分析</li> </ul> <p>※計画値は第2面 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項の②と同じ</p>						
※事務処理欄							